

# 議会運営委員会

令和2年9月29日  
委員会室

## 1 開 会

## 2 協議事項

- (1) 第78回12月定例会の日程等について
- (2) 第77回9月定例会の反省等について
- (3) その他  
北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園議会副議長  
職の取扱いについて
- (4) 課題懇談会の開催について（総務産業常任委員会）

## 3 その他

- (1) 12月以降の議員報酬について
- (2) 都市宣言について

## 第78回西脇市議会12月定例会の日程等について

### 記

#### 1 招集予定日と主な議案

##### (1) 招集予定日

令和2年11月30日（月）午前10時

##### (2) 提出予定の主な議案等

ア 補正予算（令和2年度一般会計ほか）

イ その他

#### 2 日程及び会期等

##### (1) 日 程

11月20日（金）午前9時30分から 議会運営委員会

26日（木）午前9時30分から 議案説明会

30日（月）午前9時30分から 議員協議会

午前10時00分から 本会議（第1日）

《本会議終了後、資料請求調整会》

12月1日（火）正午 議案質疑通告締切

4日（金）午前10時00分から 本会議（第2日）

7日（月）午前9時30分から 総務産業常任委員会

8日（火）午前9時30分から 文教民生常任委員会

9日（水）午前9時30分から 予算常任委員会

10日（木） 委員会予備日

11日（金）正午 一般質問通告締切

14日（月）正午 討論通告締切

（一般質問の通告数等により、午後1時30分から議会運営委員会を開催）

17日（木）午前9時30分から 議員協議会

午前10時00分から 本会議（第3日）

18日（金）午前10時00分から 本会議（第4日）

21日（月） 予備日

22日（火）午前9時30分から 議会運営委員会

##### (2) 会 期

11月30日（月）から12月21日（月）までの22日間

#### 3 今後の日程について

10月2日（金）午前9時30分から 総務産業常任委員会

4日(日)	午前8時30分から	西脇市民体育大会総合開会式
6日(火)	午後7時00分から	課題懇談会(野村地区)
7日(水)	午後7時00分から	課題懇談会(比延地区)
8日(木)	午後7時00分から	課題懇談会(重春地区)
	午後7時30分から	課題懇談会(芳田地区)
9日(金)	午前9時30分から	文教民生常任委員会
	午後7時00分から	課題懇談会(津万地区)
12日(月)	午後1時30分から	議員研修会(オンライン会議)
13日(火)	午前9時30分から	議員協議会
15日(木)	午前9時30分から	議会運営委員会
	午後7時00分から	課題懇談会(西脇地区)
	午後7時00分から	課題懇談会(黒田庄地区)
17日(土)	午後7時00分から	課題懇談会(日野地区)
30日(金)	午前9時30分から	議員協議会

11月10日(火) 午前9時30分から 議員協議会

23日(月) 午前9時00分から 勤労感謝の日記念式典

事務組合議会議員及び各種審議会協議会委員等選出

平成31年 1月29日 議会運営委員会

名 称	人数	選 出 分 野	備 考
北播衛生事務組合議会議員	3	正副議長経験者から1人	組合副議長に就任 議会運営委員会で選考
		総務産業から1人 文教民生から1人	
北播磨こども発達支援センター 事務組合わかあゆ園議会議員	2	文教民生から2人	隔年で監査委員就任
北播磨清掃事務組合議会議員	5	正副議長経験者から1人	組合議長に就任 議会運営委員会で選考
		総務産業から2人 文教民生から2人	
播磨内陸医務事業組合議会議員	2	文教民生委員長	委員長充て職 隔年で監査委員就任
		文教民生から1人	
西脇多可行政事務組合議会議員	5	正副議長経験者から1人	組合議長に就任
		総務産業から2人 文教民生から2人	
氷上多可衛生事務組合議会議員	1		
北はりま消防組合議会議員	2	正副議長経験者から1人	組合議長に就任
		文教民生委員長	委員長充て職
都市計画審議会委員	5	混成地区から各1名	混成地区の議員で選考
北はりまハイランド推進協議会委員	1	議長	充て職
西脇多可行政事務組合農業共済 事業運営協議会委員	2	総務産業委員長	委員長充て職
		総務産業から1人	
主要地方道西脇八千代市川線 整備促進期成同盟会	3	議長	充て職
		総務産業正副委員長	正副委員長充て職
主要地方道西脇篠山線整備促進 期成同盟会	2	議長	充て職
		総務産業委員長	委員長充て職
加古川中流域整備促進期成同盟会	2	議長	充て職
		総務産業委員長	委員長充て職
国道427号・県道中安田市原線 整備促進期成同盟会	2	議長	充て職
		総務産業委員長	委員長充て職
加古川改修促進期成同盟会	1	議長	充て職
北播磨ハイランド・ふるさと街道 整備促進期成同盟会	2	議長	充て職
		総務産業委員長	委員長充て職
国道175号整備促進期成同盟会	1	議長	充て職

## 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園議会議員の選出について

## ■現状

人 数	選出分野	備 考
2人	文教民生から2人	隔年で監査委員に就任

## ■改正後（令和2年10月22日就任

案	人 数	選出分野	備 考
1案		正副議長経験者から1人	3年ごとに組合副議長に就任
		文教民生から1人	3年ごとに監査委員に就任
2案	2人	・ 組合副議長就任年度のみ 正副議長経験者から1人 文教民生から1人 ・ 上記以外の年度は文教民生から2人	・ 3年ごとに組合副議長に就任 (正副議長経験者) ・ 3年ごとに監査委員に就任 (文教民生から)
3案		文教民生から2人	3年ごとに組合副議長に就任 3年ごとに監査委員に就任

## (1) 1案

- ・ 1度就任いただくと原則として西脇市議会からあらためて選出が不要（改選時のみの対応）

## (2) 2案

- ・ 組合副議長就任時を確認した上で、その都度選出する必要がある。

## (3) 3案

- ・ 選出に関する問題はなし。ただし、他の組合議会の選出区分との整合が必要

令和2年9月25日

西脇市議会議長 様

申請者 団体等名  
総務産業常任委員会  
 代表者等氏名  
委員長 林 晴信  
 所在地  
 \_\_\_\_\_

課題懇談会 (申出) 申込) 書

項 目	市内商業者との課題懇談会
テ ー マ	新型コロナウイルス感染症対策事業に関する 課題懇談会
内 容	下記団体との懇談会 ① 自遊空間きらら ② 協同組合西脇商連 ③ しばざくら商店会
出席者数	概ね15人前後
出席者氏名	総務産業常任委員会7人 ①～③の市内商業者
会 場	① 上野会館 ② 西脇商工会議所 7階 ③ みらいえ ホール
開催希望日時	① 令和2年10月12日(月) 19:30～ ② 令和2年10月13日(火) 19:30～ ③ 令和2年10月14日(水) 14:00～
特記事項	

西脇市議会への「非核・平和自治体宣言」（仮称）の採択に係る要請書について（報告）

1 受理（面談）日及び場所

- (1) 日時：令和2年8月28日（金）午後2時
- (2) 場所：議員応接室

2 出席者

- (1) 団体名：日本青年学生平和友好祭兵庫県実行委員会 実行委員長今村龍乃介（自治労兵庫県本部青年部長）
- (2) 来訪者：井手尾氏（県畜産技術センター）、谷口氏（解放同盟）、村井正信議員ほか1名
- (3) 対応者 山口局長、山口主幹

3 主な面談概要

◇以前から都市宣言の依頼を行っているが採択されていない。

兵庫県下では、現在41市町中2市3町で未採択となっている。（西脇市、豊岡市、多可町、佐用町、神河町）

合併協議会において「新市において調整する」との方向が示されているにも関わらずいまだに進展がない。行政の怠慢であり、議会として行政に申入れをお願いしたい。

⇒ 過去、議会においても何度か協議している。

議会としては、議会主導ではなく、市や市民の気運の高まりを受けて検討することとしている。本日、依頼があったことは議会運営委員会に報告させていただく。

◇35年前に宣言しているのに、今更気運の高まりはいかがなものか。

今年は、戦後75年を迎えており、戦争の悲惨さを理解いただき、宣言について前向きに検討いただきたい。

⇒ 主旨は理解できる。「非核・平和自治体宣言」が（仮称）となっている。非核とあるがあくまで仮称という考え方なのか？

◇希望は「非核・平和」である。

4 都市経営部との調整概要

議会事務局との面談に先立って、理事者との面談が行われており、内容確認及び今後の考え方について都市経営部と調整した。概要は以下のとおり

- ・ 議会は、過去に本件について何度か協議し、市民の気運の高まり等を受けて検討すべきとの考えである。
- ・ この観点から、今回依頼があった「宣言未採択の市町が少数である」・「市行政に進展がないので理事者へ申し入れる」といった理由や手法をもって、宣言決議に繋げることは妥当とは思えない。
- ・ 例えば、戦後75周年or市制施行15周年を、戦争の悲惨さを次代に繋ぐ、世界の恒久平和を願い再認識する機会と捉え、できる限り多くの市民の理解と賛同を得て宣言に繋いでいくといった考え方の整理や手順が必要である。  
(例：連合区長会の理解と協力を得て請願を提出いただくなど)
- ・ 仮称とは言え、「非核・平和」を希望されている。反核平和リレーに関して、過去の議会の議論で、核の捉え方に違いがあったと理解している。広義に解釈すると、核は原子力発電を含むため、核と核兵器の使い分けに注意を払う必要がある。
- ・ さらに、旧市旧町時代に採択された他の宣言の取扱いも、必要性や時機を勘案し、市民との協働によって進めるべきである。